

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合って 話し合って とともに学ぼう !

ながさかっこ



ながさかしやうがっこう 長坂小学校だよりNo.5 2025年7月発行 発行責任者: 校長 國分 孝明

1学期が終わりました。4月に始まった新学年も約4か月の学校生活で子どもたちも新しい担任や友だちに慣れていきました。その1つの成果として運動会があげられますが、練習でがんばってきたことを本番当日にMAXに発揮できたようです。また、今年は暑くなるのが早かったのですが、学校水泳では体調不良になることなくやり切ることができました。

さて、明日から始まる夏休みでは、各ご家庭で様々な計画をされていることだと思います。今年は遠足で万博に行きましたが、雰囲気を楽しむぐらいの滞在時間だったので、ゆっくり万博へ行くのもいいかもしれません。

2学期の始業式に元気な笑顔に会うことを楽しみにしています。

楽しい夏休みを過ごすために!!

子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。「楽しく安全な夏休みにするために」と、終業式で子どもたちにお話をしました。

☆スマホ・SNSの使い方を考える!

夏休み中はいつもより、スマホやSNSを使う時間が長くなります。お家の人と使う時間や使い方について必ず相談しましょう。友だちにメッセージを送るとき、SNSに投稿するとき、オンラインゲーム上でのチャットや会話のときなど、思ったこと、感じたことをすぐに発信するのではなく、「本当にこれでいいのか?」「嫌な思いをする人はいないか?」「個人情報は大丈夫?」など一度自分で考えてから発信しましょう。

☆楽しく安全に遊ぶには?

楽しい夏休み。しかし、川や海での事故、熱中症での救急搬送、自転車での事故など、『いのち』に関わる大きな事故が起こるのも、夏休みが多いです。安全に十分気をつけて、楽しむようにしてください。

<遊ぶときに意識してほしい4つのポイント>

- ①危険な遊びではないか
 - ②人の迷惑になっていないか
 - ③嫌な思いをしている人はいないか
 - ④ルールやマナーを守れているか
- 遊ぶときには、4つのポイントを意識して、しっかり考えて、自分たちが正しい行動をとれるようにしてほしいと思います。先日配布しました「夏休みの過ごし方」のプリントを使って、ご家庭でも夏休みの過ごし方について今一度ご確認をお願いします。

楽しく安全な夏休みを過ごして、体も心もリフレッシュしてください。

ゴミの行方は? (4年生)



6月20日(金)に泉佐野市田尻町清掃施設組合へ社会見学に行きました。子どもたちは事前に清掃工場とはどういうところなのかを学習してはいましたが、実際に施設に着くと、想像以上に大きくてびっくりしている様子でした。

施設内に入り、まずはDVDを見せていただき、自分たちが出したゴミがどのように施設に運ばれ焼却されるのか教えてもらいました。プラットホームに着いたごみ収集車からごみピットにごみ

が入れられ、中央制御室で操作したごみクレーンを使って燃やしやすいようにかき混ぜられることや、その後ごみホッパに投入され焼却炉で燃やされることを学びました。焼却炉では850~950度の高温で燃やされる



ので、ごみのおいもなくなってしまうと聞き、「へ〜」と思わず声を漏らした子どももいました。



その後、実際に中央制御室に連れて行ってもらい、ガラス越しですがごみピットの様子を見せてもらいました。ごみクレーンでたくさんのごみがかき混ぜられてい

るんや」「ここにいたら匂いはわからんけど、ごみ収集車の人は大変そう」などの感想が聞かれ、自分たちの暮らしについてや、清掃工場での仕事について考えているようでした。質問タイムでは、事前に考えてきた質問を実行委員さんが代表して清掃工場の方

にしてくれ、みんなで聞き取り学習もできました。学校に戻ってからは、もらったパンフレットを使って学んだことのまとめや振り返りをしました。ごみという身近な問題に対して、自分ができることを考え、学びの多い社会見学となりました。

みなみおおさか ほうもん ねんせい 南大阪カレッジ訪問! (3年生)



7月9日(水)に、南大阪カレッジへ町たんけんに行ってきました。南大阪カレッジでは、「できないを出来るにかえる!」というスローガンのもと、支援学校の

高等部などを卒業した学生さんが、生活力やコミュニケーション力、働くための基礎など、自立した生活を目指して学びをすすめています。職員さんや学生さんの話を子どもたちは真剣に聞いており、積極的に自分のことも話していました。交流の時間には自ら質問をしにいたり、実行委員が考えた〇×クイズに学生さんと一緒に考えたりと楽しそうに過ご



すことができていました。学校に帰ってからふりかえりをした際に、「いろんな不自由がある学生さんが南大阪カレッジで楽しそうに過ごしているのが嬉しいと感じた。」や、「夢や目標に向かってがんばっていることがす



ぎと思った。」と子どもたちから感想があがりました。障がいの有無にかかわらず、夢や目標に向かって一生懸命がんばることの大切さを学ぶことができました。